

2021年の入試ターゲット【歴史的重要事件〇周年】

ここ100年で起きた最重要事件

- 1921年 【 】が第29代の米大統領に就任 * 当時は 3/4 が就任式
ロシア共産党が【 】を採用する … 資本主義の一部導入
パリで【 ★ 】が、初の香水「No.5」を販売する … 女性活躍のはじまり
【 】で中国共産党が創立させる … 初代委員長は陳独秀
ワシントン会議開催 … 四か国条約が調印され、【 】が廃棄される
【 】がノーベル物理学賞(光電効果の理論的説明)を受賞
- 1931年 【 】革命 … アルフォンソ13世が退位 ➡ 王政から共和政へ
九・一八事変(【 】事件) … 南満州鉄道爆破事件
英国議会で【 】が発表され、本国と植民地の平等性が成文化
【 】の没90周年 … “日本資本主義の父”
【 】の没90周年 … “日本細菌学の父”
【 】の没90周年 … “世界の発明王”
- 1941年 【 】(4月) ➡ 独ソ戦 ➡ 真珠湾攻撃 * 同時に英領の【 】を占領
アメリカで、世界初なる【 】放送を開始
- 1951年 【 】での平和条約調印で日本は主権を回復した
- 1961年 【 】が第35代の米大統領に就任
ヴォストーク1号による世界初の有人宇宙飛行に成功 … 【 】少佐(ソ)
ベルリンの壁の構築 * 48~49年は【 】
【 】の没60周年 … 『老人と海』でノーベル文学賞を受賞
- 1971年 【 ★ 】の没 50 周年 … 世界初の女性ファッションデザイナー
【 】=ショック … ドル・金の交換停止 米大統領【 】
- 1981年 【 】が第40代の米大統領に就任 … 新自由主義 と 強いアメリカ

1991年 【 】戦争開戦 ← イラク大統領サダム=フセインによる【 】侵攻(1990)

【 】で内戦が始まる ← スロヴェニア・クロアチアの独立宣言

ソ連邦崩壊 … 【 】大統領の辞任 *【 】年に成立

2001年 アメリカ同時多発テロ … 国際テロ組織【 】

キリの良い年 … 今年は何周年？

1021年 【 】生誕1000周年 … 北宋の宰相(神宗時代)

1421年 【 】が都を北京に遷都する … 【 】の完成

1521年 ルターが【 】帝国議会で皇帝と対立、教皇に破門される

1721年 イギリスで【 】内閣が成立する … 南海会社泡沫事件の收拾

ニスタット条約 … 【 】戦争(ロシア×スウェーデン)

1821年 スペインより【 】が独立 … アステカ帝国滅亡300年

【 】の没200周年 … 流刑先のセントヘレナ島で亡くなる

1851年 第1回万国博覧会が【 】で開催される *水晶宮

1861年 【 】が第16代の米大統領に就任 *南北戦争開戦

1871年 【 】の成立 … 皇帝:ヴィルヘルム1世 宰相:ビスマルク

【 】使節団が派遣される … 不平等条約の改正を目的に

第3共和政に対し、【 】の成立が宣言される(～“血の1週間”)

クリミナル＝ドライブ法の制定 … in 【 】(反英的抵抗集団弾圧法)

1901年 第1回ノーベル賞受賞 … 物理学賞【 】と平和賞【 】

【 】の没120周年 … 慶應義塾大学を創設

【 】生誕120周年 … 日本では1983年に開園する

今年気になる話題 **感染症 & オリンピック & 黒人 & 女性**

2019 年下半期～2020 年上半期で何が！？

その1 SARS・MERS 以来の感染症、WHO はパンデミックの宣言！

2019 年 12 月 31 日に中国湖北省武漢市で原因不明の肺炎患者が発生していることが公表され、その後、**新型コロナウイルス (COVID-19)** と特定された。まもなく、**世界保健機関 (WHO)** は**パンデミック (世界的流行)** 相当と発表した。2020 年 8 月の時点で、全世界の感染者数が 2000 万人を超え、国別では、アメリカが約 510 万人、ブラジル約 300 万人、インド約 220 万人、ロシア約 90 万人となっている。

パンデミックの歴史は長い。**ペロポネソス戦争**中のアテネで流行した感染症 (チフスと言われている) では当時のアテネの権力者**ペリクレス**を死に追い込み、アテネを敗北に導き、ひいてはギリシア=ポリス社会を崩壊させる要因ともなった。

パクス=ローマ時代でもローマの領土拡大に伴い、感染症リスクも高まっていた。そんな時に、温泉の効用に目を付け、下水道の整備による浴場施設の建設が、五賢帝時代の**ハドリアヌス帝**の時に広がり、のちに**カラカラ浴場**などが建設されていった。

中世に入ると**ペスト**が流行した。**ユスティニアヌス帝**時代の**コンスタンティノープル**で、**百年戦争**期の 14 世紀半ばには**ヨーロッパ全人口の 3 分の 1** を死に追いやった。時に「**黒死病**」とも呼ばれ、中世封建社会を崩壊させる一因ともなった。いずれも、領土拡大 (ヴァンダル・東ゴート王国の征服) やモンゴルによる東西交流・東方貿易をはじめとする遠隔地交易による**グローバル化**がパンデミックの背景にあった。

また、18 世紀後半から始まった**産業革命**では、イギリス・フランスにおいて工業用水による汚染から、インドの風土病であった**コレラ**が広がり、パンデミック化した。これを受け、イギリスでは**公衆衛生法**が制定、フランスではセーヌ県知事**オスマン**の指揮のもと**パリ市大改造**による上下水道の整備が行われた。

そして、今から 100 年前の第一次世界大戦中に広がった**インフルエンザ**は有名である。中立国スペインからの報告が始まりだったことから、**スペイン風邪**とも呼ばれ、1918 年からはじまり、終息までに 3 年以上かかった。これは、まだ、**パストゥール**によって発明されたワクチン接種が確立していなかったことと、1929 年に発明される**抗生物質**がなかったことが収束に時間が掛かった理由であった。そして、2003 年に始まった **SARS**・2012 年に始まった **MERS** のアジア流行が記憶に新しい。

その2 香港の自由は死んだ! 習近平の強硬姿勢は世界の揺るがすのか？

2016 年の**雨傘運動**に続き、2019 年も「**逃亡犯条例改正案**」に反対するデモが拡大し、香港当局は撤回の余儀なくされた。しかし、今回は違った。撤回以降も香港の民主勢力への圧力を強め、**新型コロナウイルス**感染防止と銘打って、抗議集会や香港返還記念集会などを禁止していった。そうした中、**ジョンソン英首相**は中国政府が香港領土に新しい安全法を課した場合、すべての香港市民に**英国市民権**への道を提供すると述べ、英中の緊張が高まった。アヘン戦争以来と言ってよい。しかし、その返還記念日である 2020 年 7 月 1 日に**中華人民共和国香港特別行政区国家安全維持法**が施行されることとなった。これに対し、アメリカも香港自治法を可決、香港の自由を守る動きを見せ、米中間に緊張が高まった。香港警察は、中国に批判的な論調で知られる香港の新聞**蘋果** (リ

ンゴ) 日報の創業者黎智英ら 7 人と民主活動家の周庭さんを香港国家安全維持法に違反した疑いで逮捕した。ただ、欧米諸国が対中国包囲網的な動きを見せても、なかなかそれ以上には制裁の動きに足並みがそろわない。また、香港の自由を認めさせれば、自治区で民主化の問題を抱えるチベットや新疆ウイグルでも自由化運動が激化し、中国経済、ひいては世界経済の原則にも繋がりがねないのである。

現在の香港は段階的にイギリスとの関係を深めていった。アヘン戦争の講和条約である南京条約(1842)でイギリスが初上陸した「香港島」が割譲された。その後、アロー戦争の講和条約である北京条約(1860)でネイサン通りというメインストリートが南北に走る「九龍半島南部」が割譲された。もともと香港は珠江の河口に位置する良港で、対岸には 1517 年にポルトガル人が漂着、1557 年に居住権を獲得、1887 年にポルトガルが併合した「マカオ(澳門)」がある。

1998 年に行われた中国分割では、99 年条約が清とイギリスの間に結ばれ、これまでに割譲された2カ所に加え、半島北部の新界地区と周囲の島々を加えた「香港」を 99 年租借することが約束された。そして、1882 年の英首相サッチャーと中国最高指導者鄧小平との香港返還協定に基づき、1997 年に 50 年間の限定による「一国二制度制」の採用が約束されての返還となった。1999 年には「マカオ」も同条件のもと、ポルトガルかを中国に返還された。

その3 台湾は香港にはならない!いや、香港とは問題が違う!

2020 年 1 月、中華民国総統選挙が行われ、現職で民主進歩党公認の蔡英文が再選を果たした。香港問題を念頭に、〈一国二制度制〉による統一を拒否する立場を貫く蔡英文の圧勝に終わった。対抗馬となった国民党に親中派のイメージを植え付けたことも勝利の一因であった。台湾総統の任期は 4 年。アメリカ大統領選挙と同じ年に行われている。8 月には、米国のアレックス・アザー保健福祉長官が台北の総統府で会談。米中国交正常化を受けた米台断交(1979)後では、最高位のアメリカ閣僚の台湾訪問となり、中国本土はこれを厳しく抗議、米中対立は香港・台湾を巻き込んだ形で拡大しつつある。

元来、1947 年に起きた「二・二八事件(外省人による本省人・日本人の虐殺・殺戮事件)」以来に台湾内における外省人と本省人との対立は続いていた。蒋介石率いる国民党独裁政権は外省人による支配であったこともあり、台湾国民は政府・反政府に二分される形であった。そうした中、蒋介石・その子蔣経国の相次ぐ死によって、国民党でありながら本省人の李登輝(2020 年に亡くなった)が総統になると、台湾は民主化の流れに乗り、1996 年に初の国政選挙が行われ、李登輝が総統に再選した。そして、2000 年の総統選挙では、民進党から出馬した陳水扁が国民党候補に勝利し、民進党初の総統に選ばれたが、このことで、本土との関係が急激に悪化し、台湾海峡における軍事衝突の懸念が高まった。

その4 アメリカ×イランの裏でアメリカがイラン包囲網に動く!

1979 年におきたシーア派最高指導者ホメイニ師の指導によるイラン革命でイランにあった在米資産接取以来のイラン・アメリカ国交断絶は続いている。アメリカはイラン包囲網を築くため、両側の国アフガニスタンやイラクへ介入し、アメリカ寄りへと動かそうとしたがことごとく失敗してきた。そうした中、2011 年から始まったシリア内戦では、代理戦争ともとれるイランとアメリカの対立が表面化していた。

2020 年 1 月、米国防総省がトランプ大統領の指示で、イラン革命防衛隊司令官のソレイマニをイラクのバグダ

ード国際空港付近で殺害したと声明を出した。これに対し、イラン革命防衛隊が 15 発のミサイルをイラク国内の米関連施設に打ち込む事件が起きた。さらには、アメリカよりとされたウクライナの航空機がイランの首都テヘラン近郊で革命防衛隊の発射した地对空ミサイルにより撃墜される事件が起きた。誤爆とされたが真相ははっきりしていない。

この対立には、シーア派イランとスンナ派の覇者サウジアラビアの対立もある。つまり、イラン人×アラブ人という構図だ。そうなると、イランの天敵となるユダヤ人国家イスラエルとの歩み寄りも視野に入ってくることとなる。そうした中、2020 年 8 月にアメリカ合衆国のドナルド・トランプ大統領は、イスラエルとアラブ首長国連邦 (UAE) が国交正常化で合意すると発表した。UAE と蜜月の関係にあるサウジアラビアは静観の立場をとっているが、アメリカに近いこともあり、パレスティナ問題を抱えながら、サウジアラビアがイスラエルに接近することも時間の問題である。

また、アメリカはアフガニスタンの反政府勢力ターリバーンとの間で、駐留米軍の段階的撤収などを定めた和平合意に調印した。このことは、前述したイラン包囲網を固める動きにもなっている。

さらに、イスタンブールにあるハギア=ソフィア聖堂を博物館からモスク化へと宣言し、トルコの 100 年続いた政教分離をイスラーム化へと変えようとするエルドアン大統領の動きにも目が離せない。もともとトルコは親米国家であったが、EU 加盟も決裂状態で、アメリカとの関係も冷え切っている。トルコ人・スンナ派国家であり、パレスティナを支援委続ける国家として、サウジアラビアへの対抗心でイランに接近可能性はゼロとは言えない。

その5 慌ただしかった日本で起きた世界史に繋がる事件とは!

2019 年 10 月 1 日から消費税が 8%から 10%に引き上げられた。庶民への増税問題は**中国の税制史 (租調庸制→両税法→一条鞭法→地丁銀制)**や**イスラーム王朝のジズヤ・ハラージュの税の問題**につながる。

11 月 24 日にはローマ教皇フランシスコが長崎市と広島市で核兵器廃絶や平和を求めて、「核兵器のない世界を実現することは可能であり必要不可欠なことだと確信している」と述べた。勿論、核問題の歴史 (オバマ大統領のプラハ宣言、INF 全廃条約など) や歴代ローマ教皇の業績の歴史につながる。ペテロ・レオ 1 世からはじまる世界史上で活躍したローマ教皇の歴史は狙われやすい。また、フランシスコがイエズス会であることから、**対抗宗教改革**や**明清時代のイエズス会宣教師の活躍と典礼問題**はチェックが必要になる。

11 月 29 日、中曽根康弘元首相が 101 歳で亡くなった。1980 年代の**新自由主義 (小さな政府、自助と国有産業の民営化)**的な動きをとった指導者の 1 人として挙げられる。イギリス首相サッチャー、ドイツ首相コール、アメリカ大統領レーガンの業績の再確認が大切だ。

そして、2020 年 3 月 24 日には、新型コロナウイルスの世界的流行に伴い、東京オリンピック・パラリンピックの 1 年程度の延期が決まった。もともと、オリンピックイヤーの翌年の入試には**〈オリンピック史〉**がテーマになる大学は多い。ギリシア時代の**〈オリンピアの祭典〉**、**1896 年**から始まった**〈近代オリンピック〉**の歴史と IOC 設立に尽力したフランス人教育者**クーベルタン**は必須。女性初参加のアムステルダム大会 (1928)、ナチス五輪のベルリン大会 (1936)、アジア初の **1964 年の東京大会**、米ソボイコットなった**モスクワ大会**と**ロサンゼルス大会**あたりは狙われる。

その6 中印対立を利用して、再びアメリカによる対中包囲網か!?

2020年6月15日、インドのガルワン渓谷で中国軍・インド軍との衝突が起きた。1959年のダライ=ラマ14世のインド亡命を発端として起こった**中印国境紛争**が**いまだ継続している状態だ**。とくに、インドとしては、パキスタンとの対立が完全に終わっていない**〈カシミール地方〉**において、その東側では中国軍との対立があり、インド・パキスタンの和平をアメリカが画策しているとも言われている。このカシミール問題は、1947年の**インド・パキスタンの分離独立**以来の国際問題で、**1947・65・71年の3度にわたる印パ戦争**（特に1・2次）でも問題になった。ちなみに、71年の印パ戦争では、インドが支援した東パキスタンが独立に成功し、**〈バングラデシュ人民共和国〉**となった。現在は、ミャンマーとの**ロヒンギャ難民**受入れ問題で揺れている国である。

その7 世界遺産の焼失相次ぐ! 首里城跡は世界遺産から外れない!

2019年10月31日に**沖縄県那覇市**にある世界遺産、首里城が火災により焼失した。その後、正殿が焼失した首里城跡の世界遺産登録を抹消しないと確認されたが、2019年5月に同様に火災で一部を焼失させた**パリのノートルダム大聖堂**に続きの焼失事件となったため、ショックは隠せない。

15世紀初めに三山（北山・中山・南山）が**中山王尚巴志**によって統一され、正式に**琉球王国**が成立した。当時、**鄭和**の南海遠征により冊封関係を広げていた明王朝の後ろ盾もあり、東南アジアの**マラッカ王国**との交易で大いに繁栄した。

しかし、**1609年**に薩摩藩**島津氏**による攻撃を受けて以降は、**日中両属体制**に入り、**1879年**の琉球処分により日本支配の**〈沖縄県〉**となった。沖縄は太平洋戦争後、アメリカの占領下となったが、**1972年**にニクソン米大統領と**佐藤栄作**首相のもと、日本に返還された。**尖閣諸島問題**については、日本が国有化宣言をしたことに中国が反発、いまだに解決には至っていない。